

かわしま

No. 129

令和2年 4月24日



特集 子ども議会 ②～⑤ 3月定例会 ⑥～⑩

委員会の動き⑪～⑫ 3月定例会審議結果⑬ 一般質問 町の考えを問う⑭～⑳

特集

届け！ぼくたち わたしたちの メッセージ

2月8日に町内小学6年生を対象として「第1回川島町子ども議会」が開催されました。

子ども議長に選ばれた伊草小学校の猪鼻さんと中山小学校の野澤さんの進行で、13人の子ども議員が柔軟な感性や視点で町執行部にさまざまな質問をぶつけました。



●撮影：町民カメラマン（山田明夫さん、大葛良二さん）

1 浅野 空さん（中山小学校）

（1）避難所について



2 小林 美瑛さん（中山小学校）

（1）歩いて行ける児童館の建設について
（2）総合病院と商店の建設について



3 野澤 碧人さん（中山小学校）

（1）自然であふれる川島町について



4 原田 雛未さん（中山小学校）

（1）町民プールについて



5 前田 風花さん（つばさ南小学校）

（1）私の目指す理想の町について





6 ^{やない まな} 矢内 愛さん (つばさ南小学校)

(1) SNSで川島町の魅力発信について



7 ^{やべ くのすけ} 矢部 蔵之介さん (つばさ南小学校)

(1) 堤防補強について



8 ^{いの はな まさき} 猪鼻 雅紀さん (伊草小学校)

(1) 野生の動物対策について
(2) 議員の役割について



9 ^{こやの さき} 小谷野 咲姫さん (伊草小学校)

(1) 危険な交差点への信号機や横断歩道の設置について
(2) 関東直下型地震対策について



10 ^{もりおか みおな} 森岡 美緒奈さん (伊草小学校)

(1) 自然の保護について



11 ^{ばば さや} 馬場 紗耶さん (つばさ北小学校)

(1) 地球温暖化などの環境被害について



12 ^{ふりた れお} 降田 玲旺さん (つばさ北小学校)

(1) 町民の健康について



13 ^{よこかわ あいか} 横川 愛佳さん (つばさ北小学校)

(1) 旧小見野小学校の活用について



開催しました

任命式

任命式では、子ども議員へ任命書と子ども議員バッジが交付され、議員としての第一歩を歩み出しました。初めは緊張と戸惑いを見せていた子どもたちですが、バッジをつけると議員としての自覚にあふれてきました。



任命書の交付



議員バッジの授与



説明を受ける子ども議長

リハーサル

議場への入退場は必ず一礼することや、はっきりと大きな声で発言をすることをはじめ、議員に見守られながら、議長の議事進行や、質問をする手順を学びました。



発言練習する子ども議員

子ども議会を

子ども議会ってなに？

「子ども議会」は町内の子どもたちが子ども議員として、川島町のまちづくりについて考え、町執行部に質問する体験を通して、行政や議会の仕組みを理解し、より身近に感じることを目的として開催しました。

ここでの経験が、大人と一緒に町づくりを考えるきっかけになればよいと願っております。



川島町議会
為水 順二議長

子ども議会の開催にあたり

昨今の議会を取り巻く状況は議員のなり手不足や投票率の低下等が深刻な課題とされており、国民の政治への関心の薄れを感じているところです。

そのような状況から、川島町の子どもたちには議会の重要性を理解し、関心を持ってもらいたいという思いで、子ども議会の開催を決定いたしました。

しかしながら、議会主催ということで戸惑いもありましたが、実行委員会やプロジェクトチームを中心に議会が一丸となり、学校や保護者等にもご協力をいただき開催することができました。

議場での子どもたちの質問は非常に立派な内容で、町に対する熱い想いを感じ取ることができ、我々議員も身の引き締まる思いでした。ご協力いただいた児童たちをはじめ、保護者、学校関係者等各位に対しお礼申し上げます。

保護者の声



伊草小学校

猪鼻 憲子さん

令和元年度川島町子ども議会に参加し、大勢の前で緊張しつつも質問、意見を述べる事ができたように思います。子ども議会参加後は川島町について以前に増して調べる機会が増えました。

より住みやすい町づくりに、参加した子どもたちの、様々な意見が反映されたら嬉しく思います。

保護者の声



つばさ南小学校

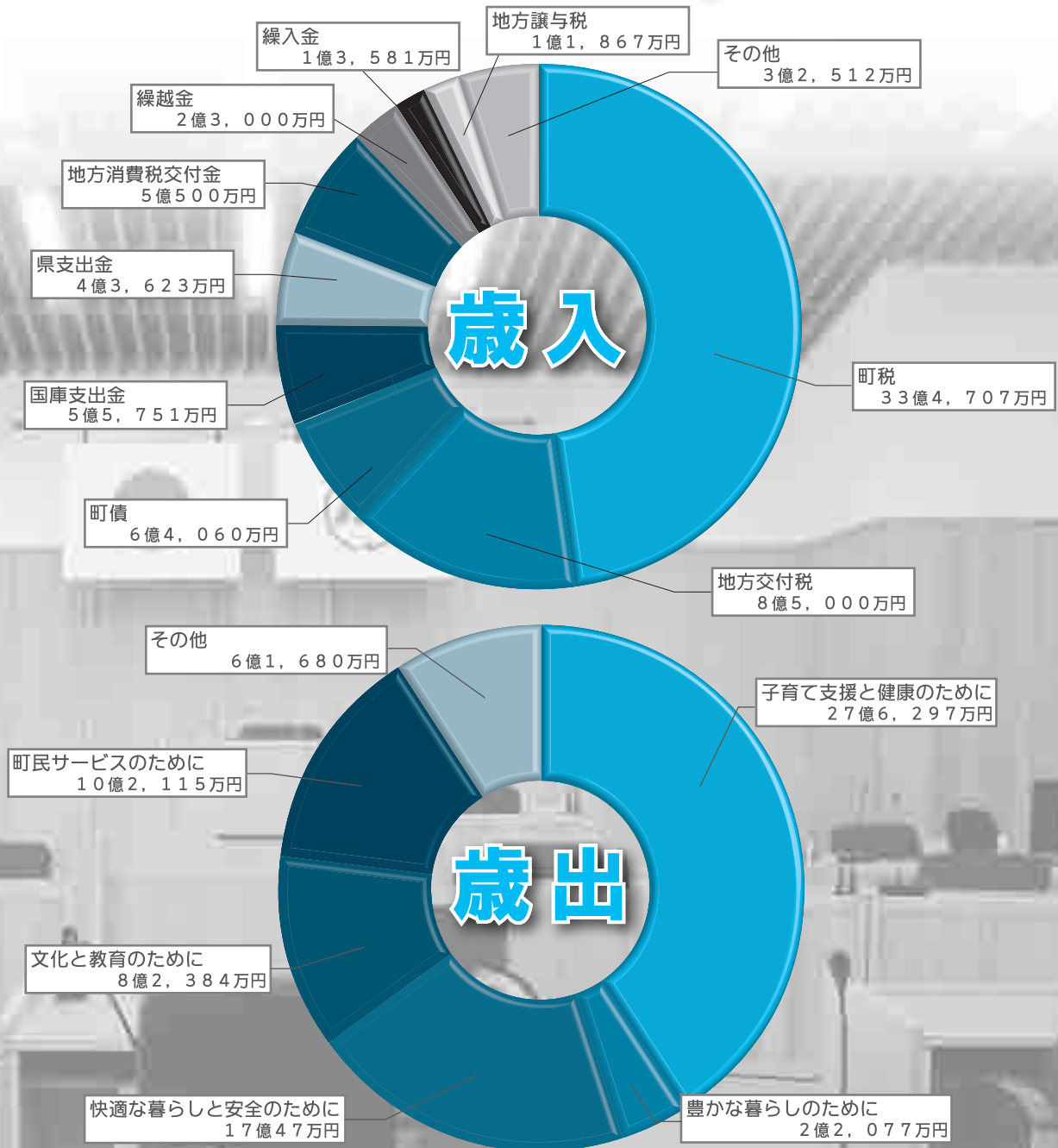
矢内 孝司さん

「特別な体験」の場をご提供いただいた町議会、議員の皆様にお礼申し上げます。

子どもが川島の今と将来を考える大きなきっかけになりました。子どもなりに一生懸命考えた質問に丁寧で分かりやすいお答えをいただいたことも子どもの心に残り、財産になったと思います。ありがとうございました。

令和2年度

一般会計予算 71億4,600万円



項 目	予 算 額	備 考
●子育て支援と健康のために	27億6,297万2千円	民生費 21億2,501万3千円 衛生費 6億3,770万8千円 労働費 25万1千円
●豊かな暮らしのために	2億2,076万9千円	農林水産業費 1億9,277万7千円 商工費 2,799万2千円
●快適な暮らしと安全のために	17億 47万2千円	土木費 7億7,918万3千円 消防費 9億2,128万7千円 災害復旧費 2千円
●文化と教育のために	8億2,383万8千円	教育費 8億2,383万8千円
●町民サービスのために	10億2,115万4千円	議会費 9,684万2千円 総務費 9億2,431万2千円
●その他	6億1,679万5千円	公債費 6億 675万9千円 予備費 1,000万 円 諸支出金 3万6千円

主な事業 令和2年度版

結婚から子育てまで親子にやさしい環境の充実

・放課後児童対策事業	5,226万6千円
・子育て支援総合センター運営事業	2,634万1千円
・予防接種情報等提供サービス事業	36万3千円
・母子の1か月健診費用助成事業	45万0千円

川島町の未来を担う教育の充実

・川島方式子ども学習支援システム構築事業	4,858万1千円
・外国人児童・生徒支援事業	66万1千円
・校内通信ネットワーク、児童生徒1人1台 端末整備事業	4,447万6千円
・中山小学校グラウンド改修事業	3,820万0千円
・町民体育館照明器具LED化事業	1,853万5千円

農業の活性化と担い手の確保

・次世代農業推進事業	60万0千円
・明日の農業担い手育成塾事業	12万3千円
・いちじく生産組合への支援事業	24万5千円

子どもからお年寄りまで地域でふれあう機会の充実

・集会所整備事業	262万1千円
・総合型地域スポーツクラブ活動推進事業	372万4千円

誰もが安心して暮らせる地域づくり

・福祉総合相談事業	1,100万0千円
・自主防災組織の充実事業	517万2千円
・外国人支援事業	31万2千円
・介護予防体操におけるフレイル予防事業	42万7千円
・高齢者配食サービス事業	120万0千円
・認知症徘徊高齢者対策事業	15万4千円
・防災情報伝達事業	3億3,596万2千円

母子の心身の健康促進と子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、乳児の1か月健診と母親の産後1か月健診の費用について助成を始めます。



一か月健診の助成

中山小学校グラウンド改修事業



中山小学校のグラウンドの水はけを良くし、雨天後も使用しやすいよう改修を行い、児童の学習環境の向上を図ります。



町民体育館の照明をＬＥＤ化することで、環境に配慮するとともにスポーツ環境の充実を図ります。

町民のスポーツ環境の充実

いちじく雨除傘購入補助金

特産品いちじくの品質向上を目指し腐敗果対策として雨除け傘の購入費（７０００枚予定）補助金制度が新設されました。



幅広い世代の
人々が、各自の
興味・関心・競技
レベルに合わせて、
さまざまなスポーツ
に触れる機会を提供
する総合型地域ス
ポーツクラブの運営を
支援します。

子どもから高齢者まで地域でふれあう機会の充実

防災行政無線を再構築

災害情報伝達検討委員会からの報告を受け、災害時の情報伝達手段を強化するため、防災行政無線を再構築します。

※写真は近隣の戸別受信機

総務経済建設常任委員会

非常勤特別職の報酬等改正

問 区長が非常勤特別職でなくなる理由は。

答 地方自治法の改正により、非常勤特別職員としての任用要件が厳格化されたため、区長職を除外するものです。

歴史文化基金の設置

問 菅間一元氏より 5,000 万円の寄付を受け歴史文化基金を設置するが、その使い道は。

答 町の歴史文化の保全及び芸術文化の振興に活用していく。例えば、町の歴史文化をビジュアル化し、50 年、100 年後の後世に残すこと等に活用したいと考えています。

小学校廃校施設の管理

問 イベントを開催する場合、飲食など提供はできるのか。また、開始時間は 9 時とあるが、早めることは可能か。

答 営利のみを目的とした販売は禁止ですが、それ以外は提供できます。また開始時間は、地域の使い方により柔軟に対応して参ります。

樹木の伐採等を進める安藤川



蕪橋付近（飯島排水と安藤川の合流地点）

令和元年台風 19 号において甚大な被害が発生した、入間川流域関係機関（川越市、坂戸市、川島町、埼玉県、国）が連携し「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」を発足。①河道の流下能力の向上②遊水機能の確保③土地利用の制限等を進めるとしており、早急な対応を連携して進めるものです。

マスコットキャラクター

問 町のマスコットキャラクターの進捗状況は。

答 ワークショップを 3 回開催し、延べ 28 人の方が参加、そこで出来上がったストーリーを基にデザインを募集中。令和 2 年度に応募の中からリニューアル案を決定して行く予定です。

かわみんタクシー

問 かわみんタクシーの町としての運行負担は。

答 2 月 1 日からタクシー料金が改定され、町負担が増えていきます。このため令和 2 年度予算は 1,800 万円計上しています。

水道管の耐震化

問 配水管の耐震化と平沼・吹塚浄水場の水害対策は。

答 配水管の耐震化は、指定避難所までを優先し、令和 9 年度までに実施予定です。浄水場の水害対策は、非常用自家発電機を設置しており、また燃料の供給協定を町内業者と結んでいます。

文教厚生常任委員会

医療費最高額約700万円

問 国民健康保険における高額療養費の上位は。

答 令和元年度における上位3つは、頸椎損傷、心不全、心疾患で、金額では医療費総額としては頸椎損傷が約700万円、心不全、心疾患が約400万円です。

中山小学校グラウンド整備

問 中山小学校グラウンド改修工事の内容は。

答 排水を良くするためU字側溝の設置や浸透した水を排出するのにチューブ型の暗渠排水管を設置します。さらに混合土を入れ土壌改良を行います。

GIGAスクール構想

問 全小中学校にLAN整備されるのか。

答 全小中学校の普通教室、特別教室、体育館等授業を行う場所にLAN整備しノートパソコンも導入する予定です。

感染症対策のポイント

うつらないため



- 手洗いの徹底
- アルコール消毒の活用
- 人混みを避ける

うつさないため



- せきやくしゃみがある時はマスクをする
- 口と鼻をティッシュなどで覆う

感染を疑われたら…

- マスクを着用し、医療機関を受診。渡航歴を伝える

新型コロナウイルス感染症の急拡大により川島町でも小中学校の休校やイベントの中止など多大な影響が出ています。
少しでも感染が広がらないように正しく手洗いをするなど一人一人が気をつけましょう。

ごみ焼却施設

問 ごみ焼却施設の今後の考え方は。

答 既存の施設の延命を図っていくなかで、組合への加入や民間への委託など新しいごみ処理方法を考えていきます。

母子健診助成

問 母子の1か月健診助成金の内容は。

答 母子の1か月健診受診後に領収書を持参して頂いて助成します。母子をセットで助成するのは県内で川島町が初です。母親の産後うつ病の予防や子どもの問題の早期発見に有効です。

小中一貫校

問 小中一貫校の考えは。

答 川島中学校の中に、小学校を入れるイメージを持っていますが、小学校を中学校に入れるには、中学校の深いプールなど改修や小学校低学年の対応など課題もあります。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上 程 さ れ た 議 案	結 果	議 員 氏 名													
		加 藤 進	渋谷 幸 司	矢 内 秀 憲	粕 谷 克 己	柴 田 一 典	稲 村 美 代 子	小 峯 松 治	新 井 悦 子	森 田 敏 男	菊 地 敏 昭	石 川 征 郎	道 祖 土 証	小 高 春 雄	為 水 順 二
条例の制定															
川島町地域福祉基金条例を廃止する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
川島町菅間一元歴史文化基金条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
川島町廃校施設の開放及び管理に関する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
条例の一部改正															
川島町印鑑条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
川島町水防団条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	一
川島町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和元年度 補正予算															
令和元年度川島町一般会計補正予算（第8号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和元年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和元年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和元年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和元年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度 当初予算															
令和2年度川島町一般会計予算	可 決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町国民健康保険特別会計予算	可 決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町学校給食費特別会計予算	可 決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町介護保険特別会計予算	可 決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町後期高齢者医療特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町水道事業会計予算	可 決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
令和2年度川島町下水道事業会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
町道路線の認定															
町道路線の認定について（町道4721号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
指定管理者の指定															
川島町老人福祉センター「やすらぎの郷」及び川島町デイ・サービスセンター「やすらぎの郷」指定管理者の指定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

（※議員名は、議席順となっております。）

町の考えを問う

町政一般質問要旨 3月10日、11日、12日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

※質問項目の区分により太字にしています。

渋谷 幸司 議員 1 公立学校への1年単位の变形労働時間制導入について 2 避難行動要支援者個別支援計画について 3 越辺川土手で発生した噴砂について	稲村 美代子 議員 2 1 かわみんタクシーについて 2 外国人児童・生徒について	矢内 秀憲 議員 1 ドクターヘリ離着陸場の追加登録について 2 防災行政無線のデジタル化について 3 農業プロジェクトの取り組みについて	柴田 一典 議員 1 幼保無償化と3歳未満の子どもを持つ保護者への支援について	石川 征郎 議員 1 日高・川島線のその後について 2 新江川の堤防のかさ上げについて 3 中山小学校グラウンドについて	菊地 敏昭 議員 1 町の環境対策について（ごみ処理） 2 町の水害対策について 3 情報提供について	小峯 松治 議員 2 1 町の農業政策について 2 健康増進について	粕谷 克己 議員 2 1 令和2年度からの学校跡地・施設の利活用について 2 川島町廃校体育施設の設置及び管理に関する条例について 3 小学校規模適正化の推進と教育環境の整備について 4 ICT機器活用・研究事業について	新井 悦子 議員 1 防災減災対策について 2 高齢ドライバー対策について 3 ご遺族支援（おくやみ）コーナー設置について	道祖土 証 議員 2 1 当町の新型コロナウイルス対策と対応について 2 町民体育祭について	加藤 進 議員 2 1 関係人口の創出について 2 平成の森公園のリニューアルについて	小高 春雄 議員 2 1 伊草地区産業廃棄物の山撤去について 2 クリーンセンターごみ処理場をインター南開発及びその周辺に
--	---	--	--	---	--	--	--	--	--	---	---

問 公立学校教員に变形労働制導入は。

答 県の動向を見ながら検討します。

問 公立学校の教員に1年単位の变形労働制導入について町の考えは。

答 勤務時間の上限に関するガイドラインを超える年間360時間以上の時間外勤務を行っている教員が、小学校で82・1%、中学校で60・8%います。小学校も中学校も空き時間がとれない先生が多く、4時から会議や授業準備等をする、どうしても2時間くらい残業をしなければならず、業務の見直しが必要で、大きな課題です。先生方や子どもたちのためになるような働き方改革になるように、しっかりと努力していきます。

問 避難行動要支援者個別支援計画の作成状況は。

答 災害のおそれがある場合に支援を要する方には、「防災カード」に記入していただいて登録しています。現在は641名の方に同意をいただいて、地区へ情報提供をしています。災害が発生した場合には、地域の自治会や自主防災会の共助による支



渋谷 幸司
しぶ ちゅう



噴砂現場のボーリング調査

問 越辺川土手で発生した噴砂について町の考えは。

答 八幡1丁目から4丁目にかけて、約80mにわたって旧河川跡に築堤された箇所があり、堤防の基礎箇所は新しい土砂で埋められているために、他の箇所と比べて脆弱な地質でもあると考えられます。現在国がボーリング調査をして鋭意分析中です。

（かわみんタクシーについて）

問 昨年度の利用登録者の月平均人数は。

答 平成30年度の月平均登録者数は、39・6名で、現在の登録者数の合計は2794名です。

問 昨年度の申請から発行までの土・日を含めた平均日数は。

答 6.5日です。

問 先日、登録者証が届くまで11日かかったという町民の声がありました。土日・祝日が重なったこともありすが事務手続きの見直し等を行い、スピード感を持って対応してほしい。

答 決裁の方法を見直し、すでに対応しています。

（外国人児童・生徒について）

問 義務教育相当年齢のうち外国籍児は何名か。そのうち、不就学の生徒はいるか。

答 外国籍児童・生徒は現在20名で、全ての児童・生徒が町内の小中学校に通っています。

問 役場には、外国語変換ができる機器が整備されているようですが、どのような性能か。小

問

かわみんタクシー登録手続きの短縮を。

答

決裁の方法を見直しました。



かわみんタクシー

中学校には導入できないか。
答 昨年12月にAI通訳機を1台購入しました。74言語に対応しています。今後、各校の人数を踏まえ、整備を検討していきたいと考えています。

問 浜松市では、外国人児童の国の言葉で授業を行う試みをしているそうです。日本人児童が「言葉がわからない」体験をすることで、お互いを理解し合う取り組みです。町の考えは。

答 貴重な指摘と受け止めます。

（ドクターヘリ離着陸場の追加について）

問 ドクターヘリは、現地での治療を可能とし、重篤患者への一刻も早い救急医療の提供を支えています。当町では、このド

クターヘリの離着陸場として、小学校グラウンドとしては、未だ旧出丸小・中山小・伊草小が登録されていません。今後の町の救急医療体制の充実化のためにも、消防局と協議の上、登録すべきと思うが、町長の考えは。

答 追加登録に向けて、消防局と調整をまいります。

（防災行政無線のデジタル化について）

問 昭和59年1月に導入されて以来、36年が経過した現行のアナログ式の防災無線は、老朽化及び電波法改正により、3年後には運用ができなくなります。防災・減災の面から、これからは災害に備える「備災」を意識し、防災行政無線の改善を求めるが、町の考えは。

答 検討委員会からは、戸別受

問

ドクターヘリ離着陸場の追加登録を。

答

追加登録に向けて消防局と調整をします。



救急医療のために活躍するドクターヘリ

信機を主体とすることが適切との報告を受けました。今後、地域説明会を考えています。

問 戸別受信機の場合、自動に起動する機能は。また、屋外スピーカーもデジタル式に替えて、放送塔として残す考えは。

答 機能や残す本数は検討し、屋外スピーカーもデジタル化をし、継続的な運用を考えます。

（農業プロジェクトの取り組みについて）

問 プロジェクト中、「農業女子」推進について、町の考えは。

答 農業体験や料理教室などを対象に積極的な支援を行います。

問 幼保無償化と3歳未満の子どもの保護者への支援について。

答 何らかの形にして支援を実施していきます。

問 幼稚園保育園などの保護者負担金の無償化が、全額国費で始まりましたが、2020年4月から、自治体も大きな負担をしての実施となります。

一般的な幼稚園保育園では、公立ですと、全額市町村が負担し、私立ですと、国1/2、県1/4、町1/4になります。さまざまな問題がありますが、今後の、課題としては、非課税世帯のみの無償化でスタートした3歳未満の保育料の対応があります。今後の動向は。

また、保育園などで、保護者の方からお話を伺うと、本当は、小さいうちは自分の手で育てたいと思っていられる方が、多くいるのを感じます。

以前、養護施設の園長さんからお話を伺った際には、3歳ぐらいまでの子育ての重要性を伺いました。泣き声や、表情、さまざまな動作により、自分の意思を伝えようと子どもに対して、時として、たつぷり独占的な愛情が必要で、それ以後の心の豊かさに表れ



柴田 典一
しば けんいち

やすいとのことでした。

仕事をお休みするなどして、3歳まで自分の手でゆっくり、じっくり育てている保護者の方へ、町として、「応援しますよ！」という思いを込めて、何らかの支援を検討していただけないか。

答 3歳未満の無償化については、国の新しい動きはありませんが、今後の動向を注視していきます。

3歳まで自分の手で育てている保護者の方への支援は、何らかの形にして、支援を実施していきたいと思っています。



季節を感じてゆっくり子育て

問 災害時に校庭を駐車場に使用は。

答 整備に合わせてできる限り利用可能にします。

問 災害時に校庭を、駐車場に使用できるのか。

答 台風19号で、中山小学校に多くの方が避難され、駐車場の確保が困難で、改めて校庭への避難車両を誘導する重要性を認識をし、その教訓を踏まえて暗渠配水管を設置し、ぬかりにくい土壌改良剤混合土に入れかえ、降雨時でも車両が乗り入れられ、2ヶ月前後の車両が駐車できるように改修整備工事を令和2年度に工事を実施する予定です。

問 日高・川島線の工事は目に映るような進捗があるのか。

答 日高・川島線は県の第2次緊急輸送道路であり、その重要性は認識しており、現在県では事業計画の策定に向けた交通量の解析をしており、解析をもとに整備の必要性を明らかにして概略設計都市計画の変更手続きを進めるとのことです。町としても早期に工事施工の段取りになるように尽力してまいります。



整備が待たれる友田橋付近の堤防

答 台風19号で、新江川友田橋付近では、越水により正直地内に甚大な被害をもたらしたことから、早急な対応を県に要望しました。その結果、県では友田橋上下流部の堤防天端の舗装や川裏堤防の法面に、大型接続ブロックの設置による堤防補強などの対策を、次の出水期までに概ね完成させる見込みであるとのこと。



石川 征郎
いし けんじ

問 埼玉中部資源循環組合の解散について、今後の町の対策方針は。

答 令和2年3月31日で組合は解散し町は可燃ごみを安定的に処理するため、焼却施設の大規模改修工事も視野に修繕計画を練り直し、費用対効果を考え、今後の可燃ごみの処理方法を決定したいと考えます。

問 町の水害対策について、昨年10月12日の台風19号で、被害を受けた方への町の対応は。

答 町を含め29市18町1村の48市町村が災害救助法の適用を受け、支援の限度額は30万円で被災された方と最終調整中です。堆積した稲わらや農産物の被害にあわれた方々にも災害復旧事業等で支援を進めております。

水害対応に関する様々なご意見をいただき、各種計画や避難所運営の見直し、町外の大学や民間施設に町民が避難できるよう広域避難計画を進めています。川越市、東松山市、坂戸市、川島町と県、国で入間川流域緊急

問 水害対応は。

答

町外広域避難計画を進めてまいります。



都幾川

治水対策プロジェクトを立ち上げ河川敷内の樹木の伐採や河道内掘削など流下能力の向上、遊水地の整備や高台整備を出丸地区に計画しており、具体的な場所や規模等、荒川上流河川事務所と協議を行い早期実現に整備できるよう進めてまいります。

問 農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化、減少、荒廃農地の増加等厳しく、川島町も例外ではありません。将来の町農業ビジョンについては。

答 農業を取り巻く環境は、ご質問にありますような様々な課題を抱えています。しかし、農業は自然環境、景観形成、地域のつながり、行事など暮らしに深く根付いており、本町の将来の発展に不可欠な産業です。農業の活性化と担い手の確保、農地の集積・集約を進め効率的な営農体制の整備、法人化の推進等を図って参ります。厳しい農業環境にありますが、より良い農業環境を次代に繋げて行くため、しっかりと取組んでまいります。

問 農地の集積・集約の面積の計画は。また、何人の大規模耕作者を予定しているのか。

答 町の優良農地は、堤内に約1500㌔あり、現在620㌔の集積・集約の状況です。750㌔を目標にしており、10㌔以上の耕作農家が20名いますので、

問 将来の農業ビジョンは。

答

より良い農業環境を次世代に繋げて行く。



農地の集積と一緒に進める農道整備

この方々を中心にお願ひして行きたいと考えています。

問 新規就農者の状況は。

答 現在、新規就農者を支援する農業次世代人材投資事業を活用し、10経営体12名が就農しています。比企管内では最も多く、県内でも多い状況です。

問 町の健康増進についての基本的な考えは。

答 健康長寿の延伸や生活の質の向上の実現を目指し、自分の健康は自分でつくることを基本方針とし、健康増進に取り組んでおります。

問 廃校体育館や校庭の利用は。

答 職員を配置しワンストップで利用できるようにします。

問 令和2年度からの学校跡地・施設の有効活用は。

答 廃校施設の開放及び管理に関する条例を整備し、当面の間（2年間）は様々な目的で利用できるよう試行的に運用します。また、地域社会が弱体化しないように地域活動センターや歴史資料館ができないか考えていきます。

問 老朽化した公民館を廃校に移し公民館事業を実施できないか。

答 公民館活動を校舎に誘導する方向で有効活用を図ります。施設をどうするのかは、今後、公民館長や関係団体と協議します。

問 小学校規模適正化計画では令和4年度までを小中一貫教育推進のための研究期間に定めているが、取組み状況は。

答 川島町小中一貫教育推進協議会を30年度に設置し調査、研究、協議を行っており、今年度は施設一体型の義務教育学校の視察を行いました。



老朽化した公共施設の機能統合を
（出丸公民館・昭和48年建設）

答 国から示されたロードマップに沿った校内高速通信ネットワークを令和2年度中に整備し、一人一台のパソコンは4年間で段階的に整備します。

問 スクールバス利用児童の体力低下が危惧されていたが、全国体力運動能力調査の結果は。

答 小学校5年男女とも県平均を上回る調査結果でした。県の新体力テストでも平均を上回り体力の低下はありませんでした。

問 文科省のGIGAスクール構想でパソコン等の機器をどのように整備するのか。

答 国から示されたロードマップに沿った校内高速通信ネットワークを令和2年度中に整備し、一人一台のパソコンは4年間で段階的に整備します。



粕谷 克己
かす や かつ み

問 高台避難所の場所や規模は。

答 出丸地区とし、規模は、協議を重ねます。

問 自然災害からの整備に補正予算が盛り込まれた中、住民避難保険の加入は。

答 掛け金に対して、支払金額が少ないため、災害救助基金での対応を考えます。

問 高台避難所の予定地と規模は。

答 出丸地区に整備することで位置付けられています。規模は、荒川上流河川事務所と協議しているところです。高台整備は、水害対策を進めるうえで町の重要課題ですので、早期に整備できるような国と連携し推進します。

問 小中学校での避難所利用計画の策定は。

答 地域防災計画での避難所運営マニュアルを見直し策定します。

問 高齢者ドライバーの事故防止に安全運転サポート車への支援と免許証返納者への支援は。

答 サポカー補助金制度は、発表され3月9日から申請が始まりました。補助事業実施者から詳細が公表され次第、情報提供



高台避難所のイメージ図

に努めます。また、返納者には、かわみんタクシーの利用料が減額されています。

問 自動車税の納税送付書の中にサポカー補助対象になる車種一覧と専用ダイヤルを添付しては。また、返納者が運転経歴証明書を発行すると1,100円の手数料がかかります。これを補助しては。

答 一覧表は税務課と協議研究します。返納者の補助については、嵐山町での例がありますので、調査研究します。



新井 悦子
あら い えつ こ

問 小学校や幼稚園・地区運動会を考えて町民体育祭の開催時期や中止の考えは。

答 町民体育祭は生涯学習、生涯スポーツ等を計画する中で総合的に事業内容を検討します。

問 町民体育祭と地区体育祭ともに開催している市町村は。

答 比企地区では実施している市町村はありません。

問 新型コロナウイルス感染症の予防対策は。

答 「やすらぎの郷」や「かわみんハウス」等は休館していません。

小中学校は臨時休校にして卒業式は卒業生と先生で行い、保育園は、うがい手洗い咳エチケットの徹底とアルコール消毒液を設置、学童クラブにはマスクやアルコール消毒液を優先的に配給します。

問 児童生徒を対象に学校図書室や体育館、校庭、図書館、コミセン等を開放できないか。

答 児童生徒の健康、安全を考えると現時点では開放は厳しい

問

町民体育祭の開催見直しは。

答

生涯学習事業を計画する中で総合的に検討します。



町民体育祭の見直しを検討

状況です。

問 放課後児童クラブに学校の先生が協力してもらえないか。

答 学童クラブから要請があれば学校長と調整は可能です。

問 新型コロナウイルスによる税収への影響は。

答 すでに国内経済への影響が出ており、法人町民税への影響を懸念しています。

問 地元事業者アンケート結果の活用方法は。

答 町内業者の影響が最小限になるように取り組んでいきます。

問 日本の将来、推計人口は2060年には、9300万人まで減少すると推計されています。

川島町も昨年、12月には2万人を割り込んでしまっており、そこで、町外にお住みの方が、別荘感覚や民泊といったもので週末にお越しいただき、農業体験ができる施策や小江戸川越の観光客を川島町まで足を運んで頂けないか。

答 地域外の人材である関係人口が地域づくりの新たな担い手として期待されております。今年度から取り組みを始めた「すぐソコ！かわじまふるさとビジネス」がございます。町の観光の中心施設、平成の森公園リニール整備や町内事業者や貸農園、観光農園と連携し町の特産品により来訪者の消費促進をめざしております。また、川越市の観光客は年間775万7千人と発表されております。その何パーセントかを町に来て頂けるようにと考えています。

問 平成の森公園リニール

問

平成の森公園にBBQ場は。

問

問

問

平成の森公園にBBQ場は。

答

予算と運用面で研究が必要。



平成の森公園リニューアルへ

はいつからどの位の予算で行うのか。

答 今のところ未定ではありませんが、来年度コンセプトを踏まえつつ検討していきます。

問 若者が是非バーベキュー場の設置を期待しているが、

答 都市公園条例の関係で制限規定もございいますが、条例改正等整理をすれば可能になると思います。しかし、設備の改修等の予算と運用面での研究が必要になります。

問

クリーンセンターごみ処理場を
インター南開発及びその周辺に。

答

将来の町計画に併せて
検討します。

問 本年3月末日、埼玉中部資源循環組合が解散されることになり、川島町は現在のゴミ処理施設を延命し、10年間位修繕して使用しているが、いずれは使用できなくなるのでインター南開発及びその周辺にクリーンセンター誘致すると共に、この施設のエネルギーで、農業振興、農業観光に力を入れたセンター建設を希望しますが町の考えは。

答 川島インターチェンジ周辺の土地利用については、川島インターチェンジ南側地区を産業団地として開発を進めることとしております。

しかし、埼玉中部資源循環組合が3月31日解散が確定となったことから、新たなごみ焼却施設について、川島インターチェンジ周辺の土地利用の推進とともに、どのような取り組みが可能か研究していきたいと考えております。

川島インターチェンジ南側地区の開発とともに、将来を左右す



川島インターチェンジ南側周辺地域



小高春雄
お だ か ば る ち ゅ う

る非常に重要な事項ですので、第6次総合振興計画の作成に併せ、町としての方針や位置づけを検討していきたいと考えております。

川越地区消防組合議会

令和元年川越地区消防組合議会第4回臨時会が12月26日開催されました。

上程されました議案は、1件です。

議案審議の前に、空席となっていた副議長選挙が行われ、指名推薦により、道祖土証議員が当選されました。

議案第11号、はしご付消防自動車取得の変更についてが上程されました。変更の理由は、6月の臨時会において取得の議決がされましたが、入札時の消費税8%で契約を締結していましたが、10月1日から消費税が10%に引き上げられたため変更契約の必要性が生じました。消費税増税分389万4千円を追加し、2億1千417万円とするものです。

質疑の後、全員賛成で原案可決されました。
(小峯)



はしご付消防自動車

道祖土 証
森田 敏男
小峯 松治

比企広域市町村圏組合議会

爲水 順二
石川 征郎

令和2年第1回比企広域市町村圏組合議会定例会の報告
定例会は2月4日東松山市議会議場で開会しました。

議案第1号は、比企広域公平委員会委員に小川町飯野和男氏を選任する件

議案第2号は、東松山斎場建設工事の請負契約の一部を変更する件

議案第3号は比企広域市町村圏組合会計年度任用職員の報酬等に関する件

議案第4号は一般職員の給与に関する条例、一般職の任期付き職員採用に関する件

議案第6号は公平委員会を共同設置する規約変更についての件

議案第7号は一般会計補正予算に関する件
議案第9号は斎場及び霊柩自

動車事業特別会計補正予算の件
議案第10号は介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算の件

議案第11号は令和2年度一般会計予算を歳入歳出7300万円にする件

議案第13号は斎場及び霊柩自動車事業特別会計予算を歳入歳出14億1200万円にする件

議案第14号は、介護認定及び障害支援区分審査会特別会計予算を歳入歳出6300万円にする件

議案第15号は公平委員会特別予算を歳入歳出70万円にする件です。

全議案、全員賛成をもって原案可決されました。一般質問が行われた後、閉会いたしました。以上報告です。

(石川)

埼玉中部資源循環組合議会

爲水 順二
小高 春雄

2月6日に定例会が開催されました。管理者の行政報告で、8月26日に行われた協議会では、令和2年3月31日に解散することとを決定し、残る事務は吉見町に承継するなどを協議していくと報告がありました。

議案第1号は「埼玉中部資源循環組合一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について」

議案第2号は「埼玉中部資源循環組合財政調整基金条例及び埼玉中部資源循環組合施設整備基金条例を廃止する条例制定について」

議案第3号「比企広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び同委員会の規約変更について」

議案第4号は「令和元年度埼玉中部資源循環組合一般会計補正予算(第2号)」です。繰入金

や分担金の調整により、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億1433万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億9622万9千円とするものです。

すべての議案が原案どおり議決されましたことをご報告いたします。(小高)

議会日誌

2月

- 5日 比企郡町村議会議員研修会
- 8日 川島町子ども議会
- 20日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 27日~12日 3月定例会

3月

- 12日 議会全員協議会
議会報編集委員会
- 30日 議会報編集委員会

4月

- 15日 議会運営委員会
議会全員協議会
議会報編集委員会

※小中学校の卒業式と入学式については、新型コロナウイルス対策のため、来賓の招待はなくなりました。

町長へ見直し案の提言

町では、太陽光発電施設が多く設置されるようになり、住民から、周辺環境との不調和や良好に管理された農地、湛水機能等への影響、及び将来にわたり太陽光発電施設が適正に維持管理されるか危惧する声がありました。

このような事から、令和元年12月6日議会において「太陽光発電施設設置に対する法整備を求める意見書」を可決し、国の関係機関へ送付しました。町に対しては「川島町太陽光発電施設の設置に関する要綱」について、維持管理等を強化する見直し案を提言しました。

大規模災害時における議会の対応を明確化

令和元年10月の台風19号被害状況及び災害対策を検証した結果、災害時における町議会及び議員の対応について、具体的な方針を定める必要があるとの意見から、現在の「川島町議会における災害対策要領」を見直し、新たに「川島町議会災害対策会議設置要綱」を設置し、大規模災害時における議会及び議員としての責務と役割を明確化しました。

表紙解説

川島町子ども議会が開催されました。13名の子ども議員が町が住みやすくなるために普段考えていることをストレートに質問をしていました。初めての取り組みでしたが、子どもたちの生き生きと発表する姿は新鮮でした。将来、町と日本を担う子どもたちの成長のきっかけとなれば嬉しい限りです。

さて、世界中が新型コロナウイルスに感染していて、平常の生活がままならない現状です。手洗い、咳エチケット、アルコール消毒の基本をいただき、また、密を避ける努力が必要です。今できることを確認し合いながら一日も早い終息を願うばかりです。

(写真・文章／新井)

議案審議

一般質問

6/11 木

中止になりました

※傍聴につきましては、新型コロナウイルス対策のためご遠慮願います。

編集後記

今回の子ども議会では13名の子ども議員の皆さんから、「こんな事をやって欲しい!」「この事はどうなっているの?」「子どもの目線から町を見つめて、気になったことや率直な要望が出されました。私達大人は、この要望は「出来る・出来ない」で考えて整理してしまいがちですが、子ども達の素直な感性には学ぶ事が多くありました。

令和元年度は、議会の改選が行われて新人議員も5名加わりました。インターネットでの録画配信も始まりました。各議会での町政一般質問に取り組む議員も多くなり、町民の皆さんの要望を議会へ届けてまいりました。令和2年度の議会だより4月号からはページも増えます。議会の様子を子どもたちの感性に負けないように、より丁寧に分かり易くお伝えしてまいります。

(渋谷)

議会報編集委員会

相 委 副 委	談 員 員 員 長
二 進 憲 己 典 司 子	
水 藤 内 谷 田 谷 井	
順 秀 克 一 幸 悦	
爲 加 矢 粕 柴 渋谷 新	